別記第三十号様式申請人等作成用２　Ⅴ（「特定技能（１号）」・「特定技能（２号）」）を次のように改める。

申請人等作成用２　Ⅴ（「特定技能（1号）」・「特定技能（2号）」）

17 特定技能所属機関
(1)氏名又は名称
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(2)住所(所在地)　　電話番号
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿

18 技能水準
□分野別運用方針に定める評価方法による証明
□試験による証明
合格した試験名　　受験地
□ 日本国内
□ 日本国外(国名:＿＿＿＿＿＿)
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□ 日本国内
□ 日本国外(国名:＿＿＿＿＿＿)
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□その他の評価方法による証明
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□技能実習2号を良好に修了

19 日本語能力(「特定技能1号」での在留を希望する場合に記入)
□分野別運用方針に定める評価方法による証明
□試験による証明
合格した試験名　　受験地
□ 日本国内
□ 日本国外(国名:＿＿＿＿＿＿)
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□ 日本国内
□ 日本国外(国名:＿＿＿＿＿＿)
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□ その他の評価方法による証明
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□技能実習2号を良好に修了

20 良好に修了した技能実習2号(上記18, 19において技能実習2号を良好に修了を選択した場合に記入)
(1)職種・作業(技能実習法施行規則別表第2の職種・作業を記入)
職種　　作業
＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿
良好に修了したことの証明
□3級の技能検定又はこれに相当する技能実習評価試験の実技試験の合格による証明
□実習状況に関する書面による証明
(複数ある場合には(2)に記入)
(2)職種・作業(技能実習法施行規則別表第2の職種・作業を記入)
職種　　作業
＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿
良好に修了したことの証明
□3級の技能検定又はこれに相当する技能実習評価試験の実技試験の合格による証明
□実習状況に関する書面による証明

21 申請時における特定技能1号での通算在留期間(過去の在留歴を含む。「特定技能1号」での在留を希望する場合に記入)
年　　月
＿＿＿＿＿＿＿＿